

木産協だより【年末号4月～10月期までの取組み】 ウッド・チェンジ（木づかいが森をよくする暮らしを変える）

やまがた YAMAGATA モクレポ

【祝】木産協総会並びに創設 50 周年記念式典（受賞おめでとうございます）（木産）

当協同組合は、山形県製材協同組合の設立(昭和 49 年 4 月)から数えて、今年（令和 6 年 4 月 1 日）で 50 周年となることから、令和 6 年度【組合総会】と併せて【記念式典】を令和 6 年 5 月 22 日（水）にホテルメトロポリタン山形 3F 霞城の間（山形市）で開催しました。（15 時～組合総会、16 時～記念式典）

受賞者様 紹介

【知事受賞】

相田吉則氏（㈱アイタ工業）
大泉義一郎氏（㈱山六製材）
小関一也氏（㈱小関興業）
鍋倉利樹氏（鍋倉製材所）
安部雄祐氏（㈱山形城南木材市場）
下山邦彦氏（㈱下山製材）
阿部知行氏（㈱阿部製材所）

【木産協：理事長賞受賞】

花輪博史氏（㈱阿部製材所）
白旗隆氏（㈱大和）
小田嶋恵介氏（㈱大和）
白旗美知夫氏（㈱大和）
今川 マキ氏（㈱岩浪木材センター）
塚形義彦氏（㈱岩浪木材センター）
熊谷伸仁氏（㈱岩浪木材センター）
後藤正氏（㈱遠田林産）
山口裕氏（㈱山口製材所）
香澤美恵子氏（元組合職員）



50 周年記念式典【感謝状授与式】（組合並びに本県の木材産業振興への貢献：ありがとうございました）

やまがた県産木材利用センター：総会・特別記念講演会開催（利セ）

●やまがた県産木材利用センターでは、毎年度、県産木材の利用拡大を目的に、森林・木材産業関係者や、行政関係者、建築・設計、一般県民を対象にした研修会等を開催して、**森林資源の循環利用や、ウッド・チェンジの推進に繋げる取り組み**を行っています。今年は令和 6 年 6 月 6 日（木）に山形市（山形テルサ）で開催した通常総会に併せて、**㈱モリアゲ代表取締役社長【長野麻子氏】**を講師に、「ウッド・チェンジで山形の森をモリアゲよう」をテーマに特別講演会を開催しました。

※身の回りのものを木に変える→木を暮らしに取り入れる→建築物の木造・木質化を進め地域材の流通を促進する→木の利用を通じて持続可能な社会にチェンジする（私たち業界の力で頑張りましょう）

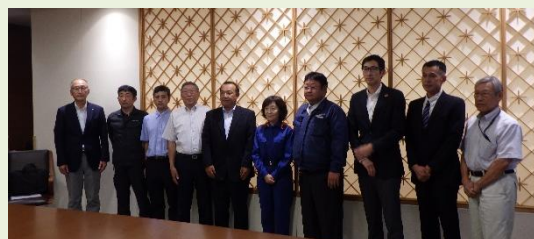


豪雨災害に伴う木材産業支援に関する要望書（令和 6 年 9 月 18 日）酒田市長に提出（木産）

【山形県木材産業協同組合・同組合酒田飽海支部・酒田木材工業団地協同組合・協同組合やまがたの木乾燥センター・北庄内森林組合】が連名で、今年 7 月に発生した豪雨災害対策の要望書を酒田市長に提出しました。

【要望内容】（組合：阿部副理事長、遠田理事参加）

- ① 被災林道の調査と幹線林道等の早期復旧に向けた復旧工事着手
- ② 森林環境譲与税を活用した復旧・復興の推進
- ③ 被災した重機、建物等への経済支援



（早期の復旧支援開始：ありがとうございました）

林野庁長官への施策提案活動 (木産)

●山形県森林協会（会長：今井敏、副会長：松田賢）では、令和6年6月21日（金）林野庁長官室において担当部長同席のもと、森林・林業・木材産業に係る【施策提案書】の提出を行いました。

【木材関係の施策提案書】

国産材の安定供給と利用拡大の推進

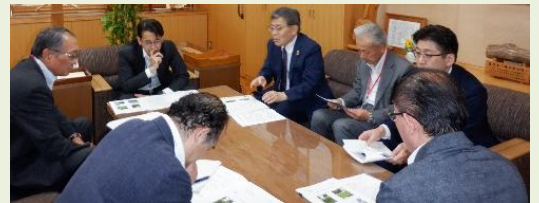
（国産木材のストック機能の充実による供給体制の強化、民間施設を含めた建築分野全般における国産材への転換）

●木材産業分野においては、【5パーセントフォー・ウッドの法制化】として木造建築費の5%以上の建築費を国産材利用に充当する【法制度】

の設立等を重点事項として要望しました。（組合：松田理事長、安部副理事長が参加）



中央が青山長官と今井会長



【東北支部総会（新庄市で開催）】東北専門職大学視察 (木産)

●令和6年9月10日（木）に新庄市（ニューグランドホテル新庄）において、全木連【東北支部総会】が開催されました。全木連の副会長（元林野庁長官：本郷氏）からは「全木連・全木協連中央情勢について」と題して、木材産業に係る最新情報の講演がありました。次の日（11日）には、参加者全員で4月にオープンした「東北専門職大学」の視察を行いました。当日は、柴田森林経営学学科長から「森林の豊かな力を活用した新しいビジネス展開」について講演があり、豊かな森が溢れている山形から新しいビジネスとしての「森林業」のフロントランナーを目指しましょう！と提案がありました。（組合：松田理事長、小関副会長が参加）



第9回山形県林業労働安全大会【鶴岡市で盛大に開催】 (木産)

●伐採、搬出に関する林業労働災害が増加傾向にある中、関係事業者が共同で安全対策に取り組む契機とするため、「リスク知り、リスクに備え、安全作業」をスローガンに、標記安全大会を令和6年7月5日（金）に、鶴岡市（東京第一ホテル鶴岡）で開催しました。林業事業者経営者及び従業員等 約130名に参加していただきました。

●【安全祈願】 神社神主 伊勢両宮

【講演会の内容】 (組合：松田理事長、小関副会長が参加)

演題「林業労働災害の防止について」

→ 庄内労働基準監督署長 様

演題「生産現場での労働安全対策」

演題「東北地区の原木需給動向及び新しい林業」

→ 東北森林管理局 資源活用課長 様

【主催】 木産協「森林資源生産協議会」



原木調達交渉(9/27) 県産原木の受入制限を緩和し、将来的な受け入れ数量増大に向け宮城県石巻合板工業(株)、セイホク(株)を訪問し、要望活動を行いました。木造住宅業界では建築棟数の減少傾向が続く中、各社の今後の経営展開の状況、工場と連携した取り組みの模索等で意見交換を行いました。カマツ等の県産材の受け入れ量の拡大に向け具体的な協議も行いました。(木産)

(組合：松田理事長、小関副会長、伊藤理事が参加)



【特集】令和6年度やまがた木造設計マイスター養成講座（実施状況報告①）（利セ）

【山形の木造建築の応援団の育成に向け今年も始まりました】

●山形県と（一社）県建築士会及び県：木産協との3者で「木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する木材利用促進協定」を締結し、山形県内の建築物における県産木材の利用を推進しています。その取り組みの一つとして、今年度も【標記養成講座】を開催し、県産木材を活用した木造施設の設計ができる人材を養成する講座を開催中です。今年度は 23名の受講者 が受講中です。全国で活躍している講師陣を迎え、木質構造概論、木造建築法規など木造設計に欠かせないテーマの講座を 9月から12月の日程 で開催しています。（9月開催分 9/18：やまぎん県民ホール 9/29：山形テルサ）

※次回【山形モクレポ：特集②】で演習や現地視察も含めた詳細をご紹介します



【木造概論】

【木質構造計画演習】計画・意匠・構法 鍋野友哉 (NABENO Tomoya)

・法政大学 兼任講師
・山形大学/東北芸術工科大学/
お茶の水女子大学 非常勤講師
・鍋野友哉アトリエ/TMYA 主宰

【木質構造概論】

稲山正弘 (INAYAMA Masahiro)

・東京大学 名誉教授
・(一社)中大規模木造プレカット技術協会(PWA) 代表理事
・ホルツストラー級建築士事務所 主宰
・木質構造研究会 会長

【木造建築法規】

河野泰治 (KAWANO Taiji)

・東京大学 非常勤講師
・法政大学 兼任講師
・河野泰治アトリエ 主宰

【木造と木の文化】

網野禎昭 (AMINO Yoshiaki)

・法政大学デザイン工学部建築学科 教授
・一級建築士事務所ストラクチャー 共宰

【陳情活動】山形県への木材産業振興に向けた【要望書】の提出（木産・利セ）

【木産協】では、毎年度【木材産業界】の振興に資するため、山形県の担当部局に対して、次年度の予算の確保も含めた【要望書】の提出を行い、業界の実態等の情報提供と合わせた意見交換を行っております。

【川上～川下まで幅広い施策の要望書を提出】（組合：松田理事長、安部副理事長参加）

●【10月9日：星農林水産部長 木材産業関連対策の要望書】

・年間を通じて原木を確保しながら安定的に製品を出荷できる仕組みづくり など

●【10月15日：星農林水産部長 森林整備等関連対策の要望書】

・被災路網の復旧等に係る助成制度の拡充等の強化 など

●【10月29日：長谷川建築住宅課長 木造建築で県産木材の需要を喚起する要望書】

・県施工の建築物における「県産高品質材」の率先利用 など



10/9 星農林水産部長へ要望

活動報告 令和6年度木産協【3団体合同研修会・意見交換会】を開催（木産）

- 令和6年9月26日（木）に、山形市の「山形県産業創造支援センター」にて、木産協：3団体合同研修会を開催しました。
- まずは、各協議会の昨年度の事業展開について報告の後、6年度の事業計画の検討が行われました。その後、全木連の各種事業展開、その他関連事業の情報提供を行い【活動方針】を確認したところです。（組合：理事長他3副理事長参加）

【6年度の重要テーマと活動方針】

【山形県 JAS 製材連絡協議会】（10 団体）

・国の支援事業を活用した地域材活用支援

【山形県プレカット協会】（3 団体）

・建築士等と連携した一般流通材の活用支援

【山形県広葉樹利用拡大協議会】（5 団体）

・県内外の展示会での県産広葉樹製品の PR

活動報告 令和6年度【一般流通材を活用した木造建築ワーキング】を開催（県内建築士とのコラボ）

- 【県プレカット協会】が中心になり立ち上げた「当該ワーキング」の第1回会合を10月2日（水）山形市内（山形県産業創造支援センター）で開催しました。
- 昨年度は「県内で流通している一般流通材リスト」の作成等を行いPR活動を実施しています。今年度は、流通材を活用して施設整備する際の先導的な役割を担う場として機能することを念頭に、意見交換や活動方針の検討を行いました。



「やまがたウッド・フェスティバル 2024」(第 32 回山形県林業まつり) 開催

【今年度も多数の企業様から広告協賛をいただき開催することができました。ありがとうございます。】

●令和 6 年 10 月 19 日(土)～20 日(日)にかけて、山形市の「やまぎん県民ホール」イベント広場(山形県総合文化芸術館)にて、「やまがたウッド・フェスティバル 2024」が開催されました。出展者のテント数等は 34 ブースとなっており、木材関係団体、森林組合関係団体など多数の出展をいただき、2 日間での来場者は約 5,000 人(19 日:2,000 人 20 日:3,000 人)となっております。山形市に会場を移しての初の開催となりましたが、【大きな事故やトラブル】はなく、会場運営には問題はなかったところですが、来場者の減少・事前の PR 不足など課題も多く、出展者や来場者の意見を参考に、県担当課と意見交換等を行って参ります。



【2024 木材利用促進月間(10 月)の本県最大のイベント】

= 子供たちに大人気の木育体験【積木】・広葉樹材製品展示ブース =

【木産協関係者参加者紹介】: (株)スペースパーツ山形、(株)沼澤工務店、(株)山形城南木材市場、県広葉樹利用拡大協議会、金山町森林組合、(有)たくみまさの、協和木材(株)、置賜地材地住ネットワークにご参加いただきました。ありがとうございます。】

【新技術】探求(株)長谷川萬治商店

DLT パネルのショールームを見学・意見交換

●令和 6 年 7 月 11 日(木)に、県森林ノミクス推進課と連携して、木材を利用した【新建材: DLT】(Dowel Laminated Timber) の情報収集を行いました。

●既に、宮城県や秋田県では協議会を組織して本格的な生産・販売を開始するとのこと。県内のラミナを活用して県内の中小の製材工場でも製品づくりが可能なのが強みとのことです。【継続して情報提供を随時行って参ります】

※ DLT は製材を並べて穴をあけ、ダボで差し込むシンプルな工程で製造できる木質資材です。接着時に接着剤や釘を使用しないで「木ダボ」のみで接合しており木材 100%の積層材で、壁などの意匠性や、素材感のあるインテリアまで活用可能です。



12 月中旬以降の

(木産協・利用センター)の行事(予定)

- ① 12 月 19 日(木)～20 日(金)
「モクコレ」(展示会)(東京ビックサイト)
- ② 1 月 16 日(木)～28 日(火)
「モクション」(展示会)(東京新宿パークタワー)
- ③ 1 月 23 日(木) 全木連研修会
国産木材を活かす・繋げる
「ウッド・チェンジセミナー」(山形市)
- ④ 1 月 31 日(金) = 共催事業 =
むらやま森林ノミクスシンポジウム(山形市)
- ⑤ 1 月末以降
・【森林資源生産協議会】新春講演会(山形市)
・一般流通材を活用した木造建築ワーキング(2 回目)

【最新情報】林野庁「建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧」が更新されました。

[建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧\(令和 7 年度事業・制度概算要求版\)](#)

【最新情報】令和 6 年度の補正予算について 11 月 22 日に閣議決定され公表されました。

[令和 6 年度林野関係補正予算について: 林野庁](#)

発行: 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<https://www.mokusankyō.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyō.com

【お知らせ】「林野庁」や業界の最新情報(お知らせ・パンフ)等は、
1 月発行新年号で情報提供をさせていただきます。

【お知らせ】「木産協だより」で情報提供してきた【県内住宅着工情報】は今年度から木産協の HP に掲載しています。(掲載中)